

TOYO

電気温水器付洗面化粧台・ウォールキヤビネット施工説明書


製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。
この施工説明書と水栓金具に同梱されている説明書と合わせてご確認ください。

☆安全上の注意

- 取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
- 使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、死亡又は重傷などを負う可能性が想定されます。
注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性が想定されます。

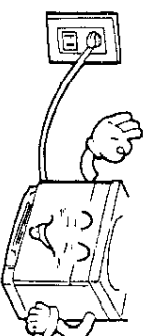
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 このような絵表示は、してはいいない「禁止」内容です。

- 本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付工事完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

警告

アース工事を行ってください
(口種接地工事)



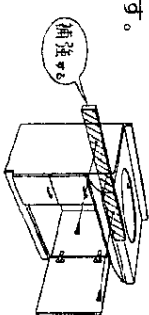

漏電により感電する原因になります。

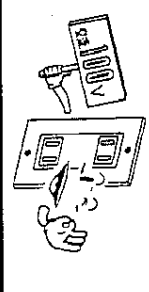
電気コードを傷つけないで
ください

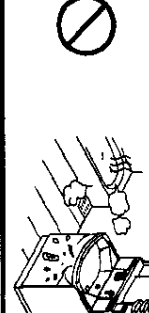
電気コードを傷つけると火災の原因になります。特に壁固定の際は気を付けてください。



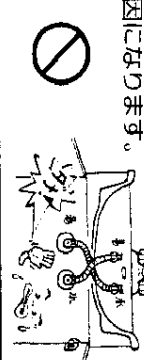
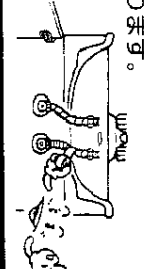
警告

壁固定ねじ取付位置に棧を入れて補強してください	電気配線工事・給排水工事は、関連する法令にいたがって、必ず「有資格者・業者」が行ってください
キャビネットが転倒しケガをする原因になります。	火災や感電及び漏水の原因になります。
	

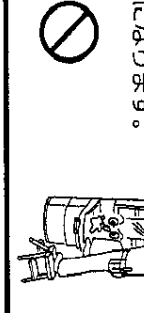
電源は交流100Vを使用してください	交流100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。
	


浴室など湿気の多い場所へ設置しないでください	漏電により感電する原因になります。
	

注意

湯・水を逆に配管しないでください	凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行ってください
水側でいきなり湯が出て、やけどをする原因になります。	凍結破損で漏水し家財などに損害を与えるおそれがあります。
	

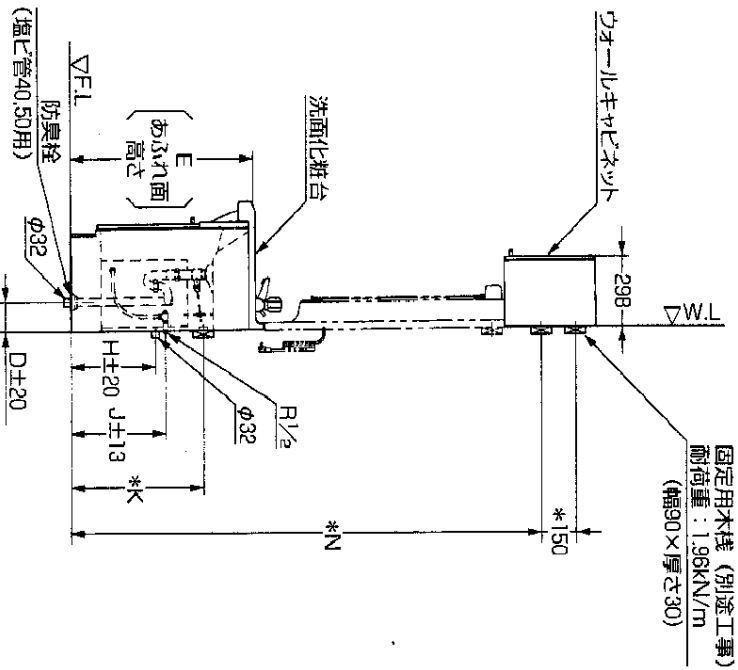
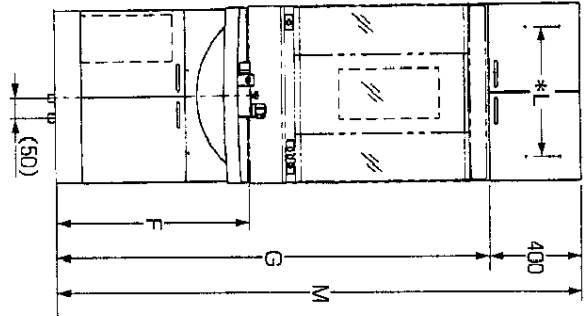
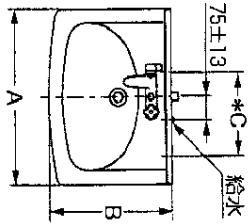
工事完了後、給排水管から漏水がないことを必ず確認してください	漏水を起こすと、家財などに損害を与えるおそれがあります。
	

カウンタート・洗面器の上におらないでください	故障及び転落・転倒してケガの原因になります。
	

工事完了後、キャビネットの固定・扉の焼き・ガラスキ・丁番のゆるみかひびきを必ず確認してください	使用中にキャビネット・扉が落下してケガをする原因になります。
	

☆工事寸法

- 特殊品の場合の工事寸法は承認図を確認してください。
- 壁排水パイプは付属していませんので必要な場合は、LTH521-3をご購入ください。
- 図はLDA750BMH+LWK750タイプです。その他の機種は外觀形状が若干異なります。
- *印は木ねじ位置を示します。
- () の寸法は600サイズです。



固定用木柱 (別途工事)
 耐荷重: 1.96kN/m
 (幅90×厚さ30)

洗面化粧台 製品番	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K
LDA600AMH	600	520	150	150	750	796	1850	320	370	530
LDA600BMH	600	520	150	150	800	846	1900	370	420	580
LDA750AMH	750	545	320	125	750	796	1850	320	370	530
LDA750BMH	750	545	320	125	800	846	1900	370	420	580

ウォールキャビネット 製品番	L	M	N
LWK600 あふれ面高さ750の場合	450	2250	2010
LWK600 あふれ面高さ800の場合		2300	2060
LWK750 あふれ面高さ750の場合		2250	2010
LWK750 あふれ面高さ800の場合	500	2300	2060

LDA600AMH(U)・BMH(U)・LDA750AMH(U)・BMH(U) LWK600・750

☆付属部品明細

洗面化粧台 LDA

名 称	数 量
1 水栓金具	1セット
2 排水ふた	1個
3 給水ふた	1個
4 防臭栓	1個
5 ふた用木ねじ (φ3×12)	5本
6 壁固定用木ねじ (φ4.5×50)	2本
7 取扱説明書 (保証書付)	1冊
8 止水栓	1個
9 排水トラップ	1セット
10 排水ホース (電気温水器の水抜き用)	1本

☆設置上の注意

- 湿気の多い場所では、木部が膨潤するおそれがありますので設置しないでください。特に浴室内には、設置しないでください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。
- 取付けは必ず平滑な壁面としてください。

☆あらかじめ必要な電気工事

(必ず電気工事店にて工事してください)

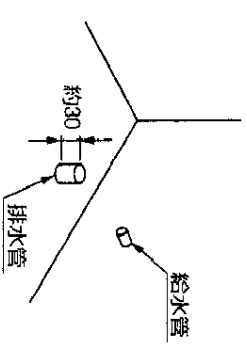
- 電源は、交流100V (50/60Hz)、温水器消費電力505Wに適した配線をしてください。
- 総消費電力が2000Wを超える場合は別配線を設定してください。
- 漏電による感電防止のため、アース工事を行ってください。(D種接地工事)

☆取付け前の準備

- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木様を入れてください。
※特にウォールキャビネットは洗面用具などが収納されるとかなりの重量になりますので、地震などの際に落ちることのないように、壁固定ねじ取付位置には壁面に固定用木様を入れてください。(壁面に固定用木様を入れられない場合は、前面に厚み12mm以上の板を強固に取付けてください。)
- 給水管を所定の位置に取出してください。
- 器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 化粧台に排水穴 (φ90)、を穴あけしてください。
- 排水管を所定の位置に立上げてください。
- 排水管はVU40、VU50又はVP40、VP50をご使用ください。

ウォールキャビネット LWK

名 称	数 量
1 壁固定用木ねじ (φ4.5×50)	4本
2 棚受タボ	4個

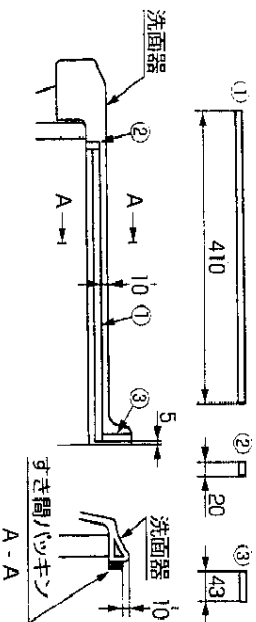


☆取付手順 (番号順に取付けてください。)

※タイル・コンクリート壁の場合は、現物に合わせて木ねじ位置に下穴をあけ木ねじ用プラグを打込んでおいてください。
(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

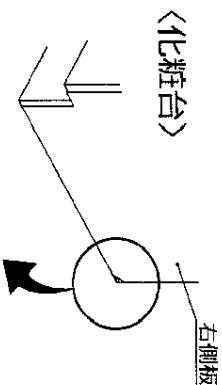
① すき間パッキンの取付け

●すき間埋めスプーサ (L08) 及びトールキャビネットをセットする場合、すき間埋めスプーサ及びトールキャビネットに同梱されているパッキンを下記寸法にカットし洗面器に張付けてください。



② 電源コード用の切欠き

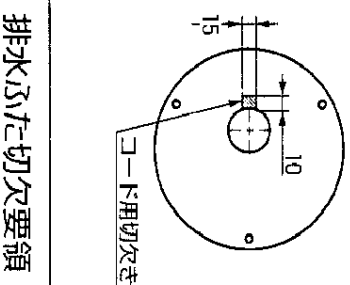
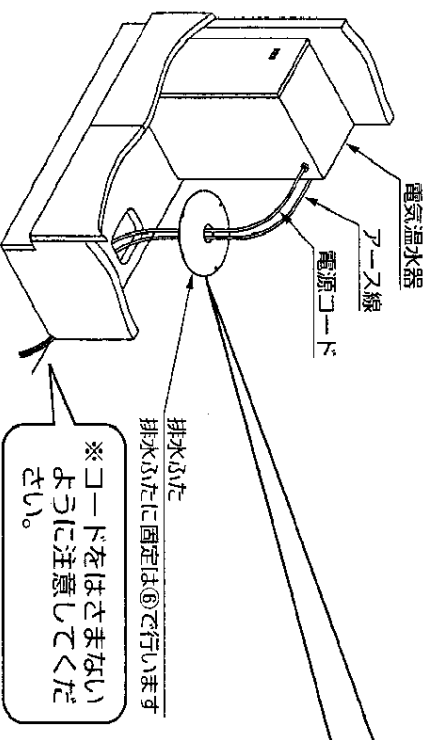
●電源コード及びブラス線を取り出す側の側板を下図寸法でカットしてください。
●下図の化粧台は、電源コード及びブラス線を化粧台に向かって右側に取出す場合を示します。左側に取出す場合は、これと対称になります。



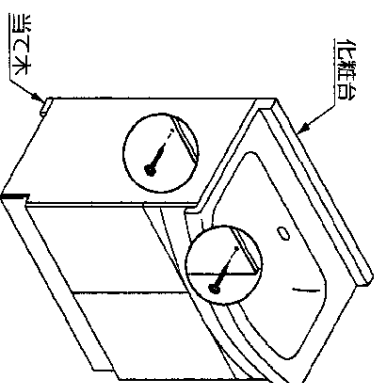
※カット面は、コードを傷つけないためやすりで面取りしてください。

③ 洗面化粧台の取付け

(1) 電源コード及びブラス線を下図のように取出してください。
●付属の排水ふたにコード用の切欠きをつけてください。
●コードは排水ふたを通し、切欠き部よりキャビネットの外へ取出してください。(下図参照)



(2) 付属の木ねじ (2本) で壁固定してください。

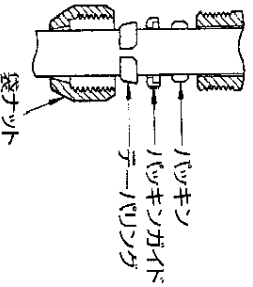


●床が水平でない場合には、扉に段差ができるおそれがありますので丁番を調整して段差をなくしてください。
(調整要領は扉裏面に張付けのラベルをご参照ください。) それでも良くならない場合は、当て木をして水平になるように調整してください。

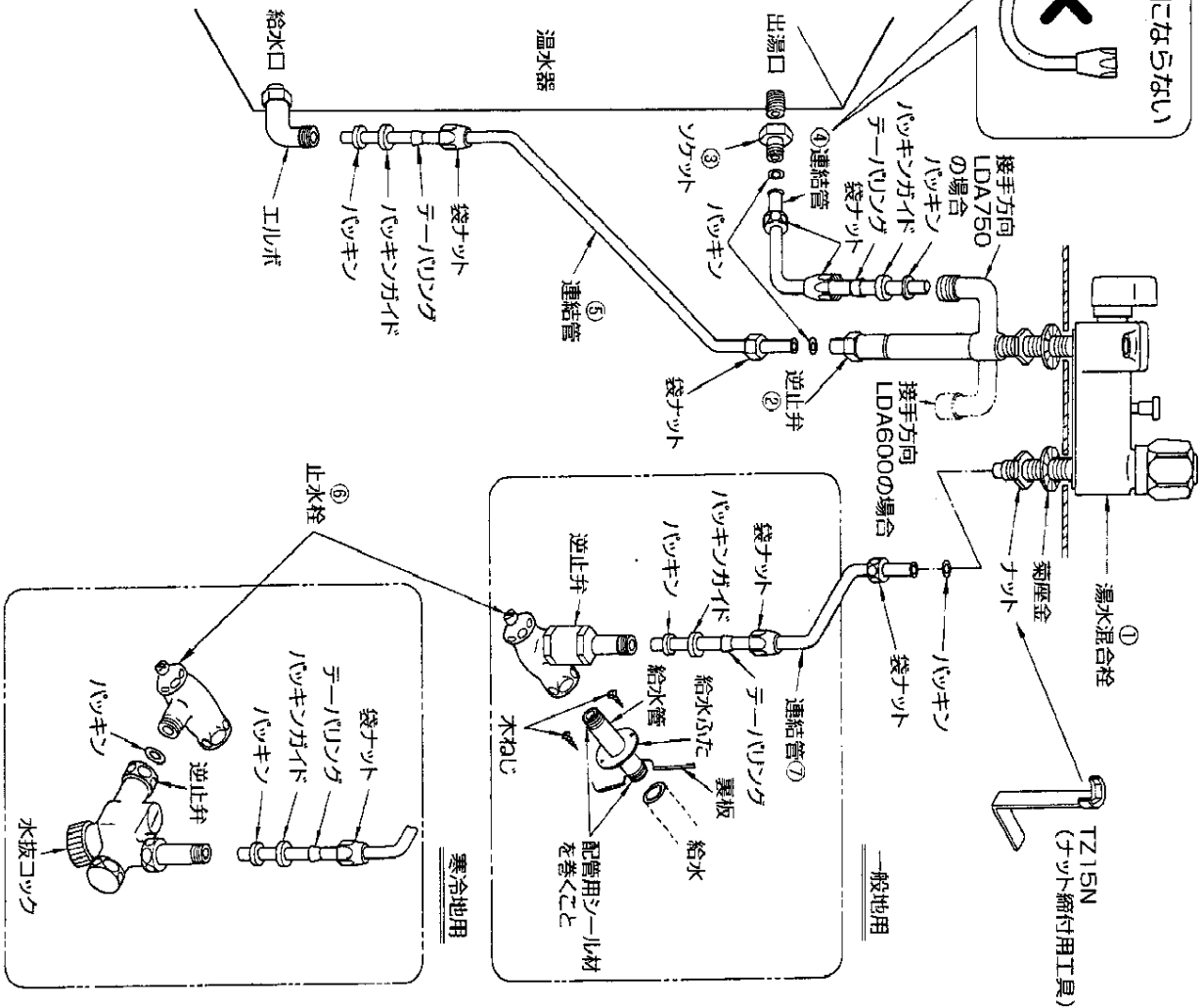
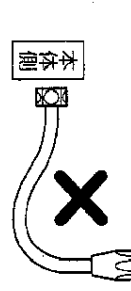
4 水栓金具及び止水栓の取付け

- ナット・逆止弁本体・接手用袋ナットの締付けは、別売のナット締付用工具TN15Nを使用し、十分に締付けてください。
- ①混合栓を取付けてください。
- ※片締めしますと洗面器（カウンタター）が割れるおそれがありますので左右交互に均等に締めてください。
- ②混合栓に接手を差込み逆止弁を取付けてください。
- ③温水器にソケットを取付けてください。
- ④連結管を接手のストッパーに当たるまで差込んで取付けてください。
- ⑤連結管を曲げて取付けてください。
- ※管がつぶれないように注意してください。
- ※逆止弁又はエルボに取付けた状態で曲げないでください。
- ⑥止水栓を上向き（寒冷地の場合は右向き）に取付けてください。
- ⑦止水栓に逆止弁を取付け、連結管を逆止弁のストッパーに当たるまで差込んで取付けてください。

注 テーパリング・パッキンガイド・パッキンの順番、向きをまちがえないでください。

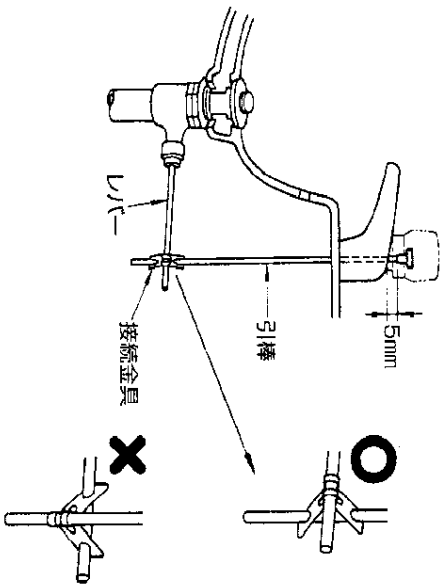


連結管は逆勾配にならないこと。



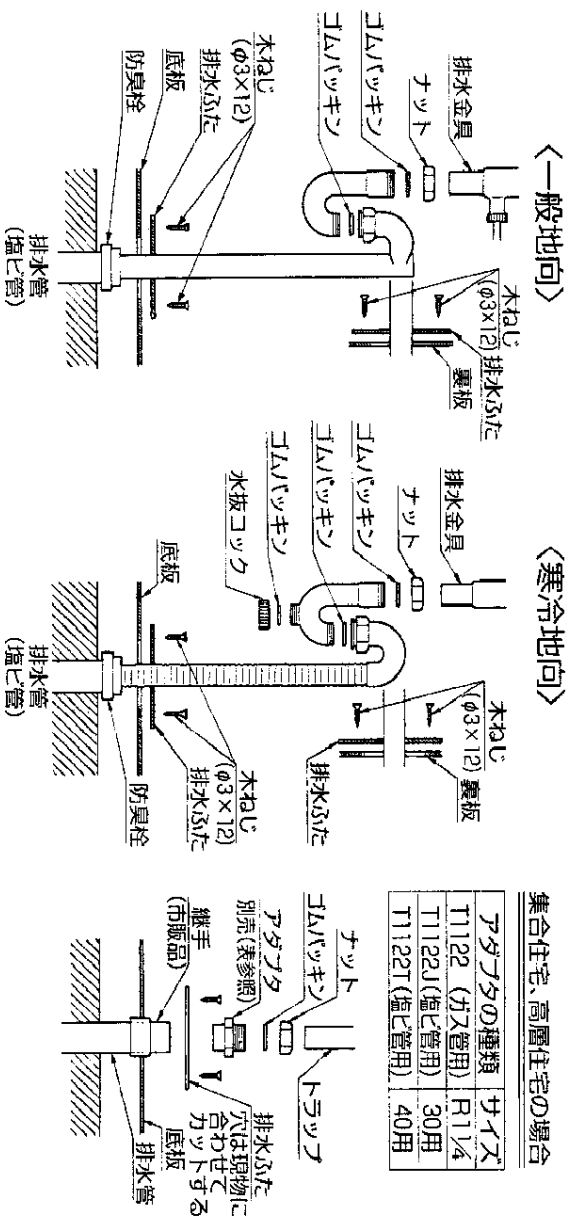
⑤ ポットアツプ引棒の取付け

- リバーを下側いっぱい下げ、引棒を図のように接続してください。
- また、引棒を上下に作動させた時排水栓がスムーズに動くか確認してください。



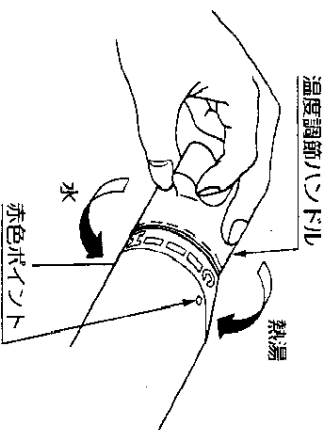
⑥ 排水トラツプの取付け

- ナットは工具で確実に締付けてください。
- 床排水トラツプの場合は、配水管に防臭栓をはめてトラツプを差込んでください。
- 壁排水トラツプの場合は、LTH521-31に同梱の塞ふたで底板の穴をふさいでください。
- 集合住宅、高層住宅の場合は、床排水トラツプを別売のアダツク（下表）で確実に接合してください。その際、排水トラツプがジャバラ管の場合、別売のハーバ管（LW87057W）をご使用ください。



⑦ 電気温水器への通水

- 止水栓を開いてください。
- 温度調節ハンドルをH側に回して開閉ハンドルを開き、5分程度お待ちください。吐水口から水が連続して出はじめるとタンクが満水になったことを示します。
- 配管接続部に水漏れがないことを確認してください。



⑧ アースの接続と通電確認

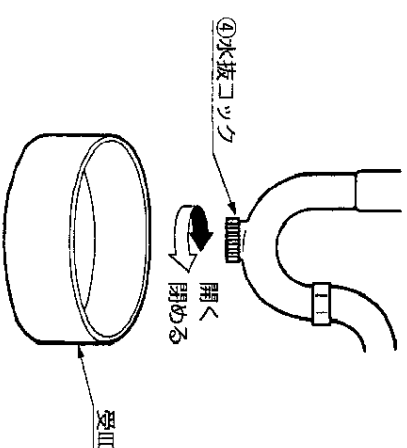
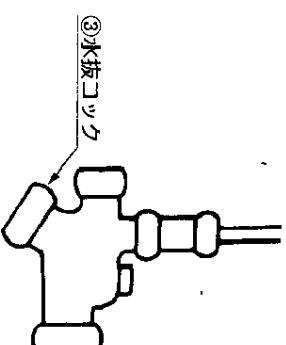
- (1) アース線をアースターミナルに接続してください。
- (2) 通電確認を次の方法で行ってください。
〈電気温水器〉（※空だき防止のため、タンクの満水を確認して電源を入れてください）
 - 温水器の差込プラグを、100V用コンセントに差し込み、温水器の電源スイッチを入れてください。通電ランプが点灯すれば正常です。
 - 温水器の電源スイッチを「切」にすると、通電ランプは消えます。
 - 設置後、長期間使用されない場合は、電源スイッチを「切」にしてください。

☆ 寒冷地タイフの水抜き方法

寒冷地タイフの場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、別途設備された水抜栓の操作と合わせて次の要領で水抜きをしておいてください。

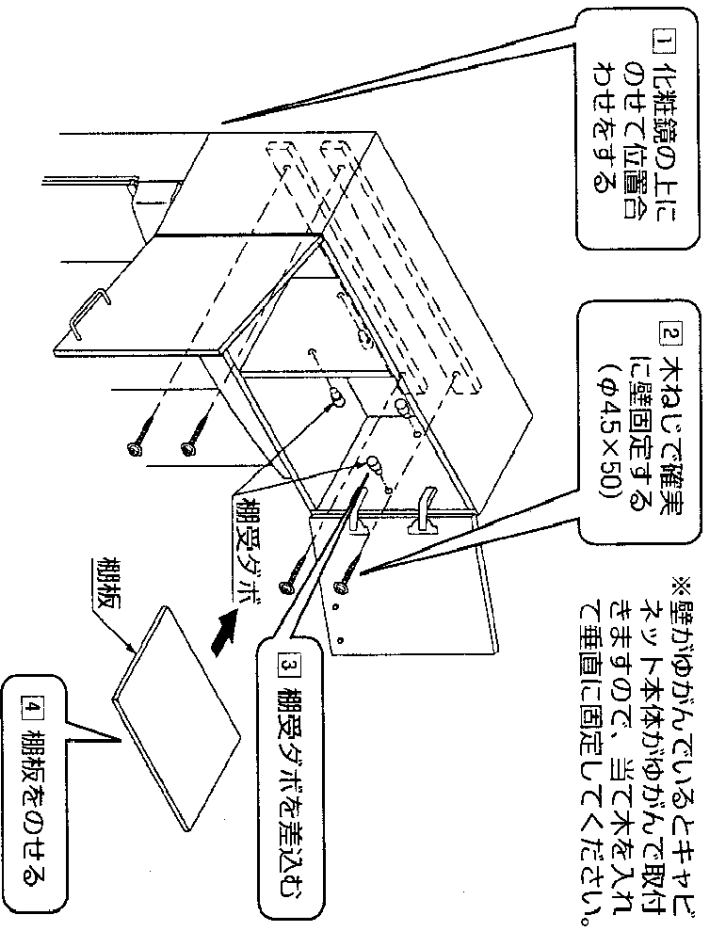
〈水抜き手順〉

- ① 止水栓を閉めてください。
 - ② 温度調節ハンドルをC側に回して開閉ハンドルを開いてください。
 - ③ 止水栓の水抜コックを開いてください。
 - ④ 排水トラップの水抜コックを開いてください。
- ※水抜き後は必ず水抜コックを強く締めてください。



☆ウォールキャビネットの取付け

(別売品のウォールキャビネットを取付ける場合は、この方法にしたがってください。)



☆取付完了後の確認と清掃

- キャビネットが壁に確実に固定されていることを確認してください。
- 湯水の出が多い場合は、洗面器からの水跳ねや水あふれのおそれがありますので、止水栓を調整してください。
- 通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- 長期間使用されない場合は、電源プラグを抜いてください。
- 製品についた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。
- その後、水を運らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後からふきしてください。
- シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質の原因となりますので、絶対に使用しないでください。